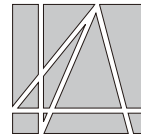


清流



No. 28

●発行 社会福祉法人 かなな会
 〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1
 TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855
 E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp

新事業所「ポプラ」について

かなな会総合施設長 島野信美

社会福祉法人かなな会は平成25年度社会福祉施設等施設整備費補助金交付の内示を県から5月に受けて、平成26年4月1日より生活介護事業所「ポプラ」を創設することになりました。

- 鉄骨造1階建て
- 敷地面積 2,104㎡
- 建築面積 488.97㎡
- 生活介護 定員20人
- 建築予定地 藤岡市下栗須 97311

設置所在地の藤岡市は特別支援学校を来年4月に開校する予定です。市全体で障害者支援に対し取り組んでいるとともに、日頃から法人と市が卒業生や在宅で暮らす人の日中活動事業所の必要性を協議してきた結果、来年4月開所に向けて実現の運びとなりました。

さらに、平成24年3月、市と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定書」を締結し、今後大きな災害時に障害者の一時的な避難所としてポプラを利用してもらうことを予定し、作業スペース

を広く取りました。

「ポプラはどんな事業所になるのですか?」「利用する人の顔を見てから、少しずつ決まってくるでしょう。」などと答えてきましたが、先日の主任会議で、絵画を中心とした芸術活動を軸にそれぞれできる作業でそこに係わっていくというのはいかがでしょうか、という意見が出ました。今後、準備委員会でご話し合い、ひとり一人の心豊かな生活につながるポプラにしていきたいと思いま

去る10月25日、雨の中、市内立石の琴平神社、立石祭主により、地鎮祭を行い、28日からの工事の無事を祈願しました。



鍬入れ



祝詞奏上



プレジャーB (大棟耕介氏代表) による「コメディ・クラウン・サーカス」



ミュージカル「3匹の子ぶた」

第14回 藤華祭

25.6.15 みかほみらい館

..... (かななの里 平成25年4月~9月までの主なできごと)

9月	8月	7月	6月	5月	4月
ナイスハートフェア (10日) 第6回かなな会役員会 (20日) ポプラ事業者人札、契約 県障害者スポーツ大会 (22日)	避暑帰省 (8、9日、水上) 居室、厨房消毒 (13、15日) 第4回かなな会役員会 (26日) 第5回かなな会役員会 (2日) 福祉パレード (10日)	平成25年度社会福祉施設等施設整備費補助金交付決定 (生活介護事業所創設) (3日) 第2回かなな会役員会 (18日) 第2回救急法講習会 (18日) 第15回かなな祭 (27日) 避難訓練 (30日)	歯科健診 (6日) バーベキュー (11日) 第14回藤華祭 (コメディクラウンサーカス) (15日) 第一回救急法講習会 (21日)	大掃除 (3、5日) 小野支部社協慰問 (7日) 神流地区民生児童委員見学 (10日) 春の健診 (23日) 県知的障害者福祉協会総会 (24日)	開所記念日、辞令交付式 (1日) しのもめ信用金庫絵画展 (30日)



入澤 和美

澄みきった青空が広がり秋の心地良さを感じつつ4年目を迎え、利用者さんも元気に通っています。

4月から新しい利用者さんも3名増え25名となり賑やかになりました。

毎年恒例のカレーパーティー、バーベキューも天候に恵まれ戸外で行われ、楽しい昼食となりました。保護者の方も多数参加してお手伝い頂き助かりました。夏には、短冊に願いを込めて七夕飾りをしました。欲しいゲームの種類、家族の名前、中には「100歳になるまでマロニエに通えますように」と書かれた短冊もあり微笑ましくなりました。そして、みんなが楽しみにしていたプール外出。大きい浮き輪やプールバックを持って来る利用者さんを見ると、いつ行くんだらう?とソワソワ笑顔いっぱい夏の一日を過ごしました。

いろいろな活動や行事を通して利用者さんときちんと向き合い共感できたことも嬉しかったです。これからも笑顔溢れる事業所を目指します。



(8月) プール



(7月) シェア



(6月)バーベキュー



(4月)カレーパーティー

マロニエ 平成25年4月～9月の主なできごと

- 4月・障害福祉サービス事業所「マロニエ」開所記念日(1日)
- ・松田直樹メモリアルAED寄贈式(5日)
- ・保護者会総会(24日)
- ・カレーパーティー(29日)
- ・赤い羽根、群馬県共同募金より送迎車寄贈(9日)
- ・高崎高等養護学校実習(20～24日)
- ・6月・歯科検診(6日)
- ・みやま養護学校生実習(10～14日)
- ・第14回藤華祭(15日)
- ・バーベキュー(28日)
- 7月・七夕飾り付け(5日)
- ・かなな祭(27日)
- ・避難訓練(30日)
- 8月・夏季休暇(13～15日)
- ・プール・昼食外出(8月～9月)
- 9月・ナイスハートフェア見学(10～13日)
- ・福祉パレード(10日)
- ・みやま養護学校生実習2名(2～6日)
- ・高崎高等養護学校生実習(16～20日)

藤岡市福祉支援センター



生活介護事業所 河田 正宣

もくせいの生活介護・生活班では、通所される利用者さんが充実した日中活動を行えるよう個別支援計画に基づいて支援を行っております。

主な日課活動としては、機能回復訓練や指先を使った手先訓練、音楽活動、散歩・歩行練習などがあります。それぞれの利用者さんの状態に合わせて実施し、皆さんの意欲を引き出せるよう工夫しながら取り組んでおります。また、時々外出して、余暇や



自然観察も楽しんでいただいています。今後も利用者さんに喜ばれる支援を継続していきます。

就労継続支援B型事業所 高橋美千子

現在就労継続支援B型事業所は就労班7名、作業班14名の方が11社からの受託作業を行い工賃アップを目指し取り組んでいます。作業班では4月よりグループに分かれ挨拶の練習を行っています。就労班では、より実践的な生活プログラムや清掃トレーニング等を行っています。練習の成果もあり、現在2名の利用者の方が老人施設で清掃作業の施設外就労を行っています。

今後も利用者の方の毎日が充実したものにできるよう、支援してきたいと思ひます。



もくせい 平成25年4月～9月の主なできごと

- 4月・もくせい保護者総会(9日)
- ・群作連総会(群馬県総合福祉センター、20日)
- 5月・藤岡市障害者スポーツ大会(藤岡第一小、26日)
- ・群馬県知的障害者福祉協会総会(群馬県総合福祉センター、24日)
- ・かなな会理事会・第三者委員会合(30日)
- 6月・春季自然観察訓練(5日)
- ・神流小学校2年生町探検(6日)
- ・藤華祭(15日)
- ・群作連第3ブロック職員研修会(甘楽町、26日)
- 7月・スポーツ大会(藤岡ボウル、18・19日)
- ・かなな納涼祭(27日)
- 8月・群馬県知的障害者福祉協会夏季特別研修会(8・9日)
- 9月・市内中学生チャレンジウィーク受入れ(2～6日)
- ・第39回福祉パレード(10日)
- ・あいあいレクレレション(群馬アリーナ、20日)
- ・秋季外泊施設研修(神奈川県横須賀市他、26・27日)

ケアホーム

あじさいがりん

秋の日帰り旅行(10/4)

世話人代表 角田 秀子

10月初め、静かな秋の日、ケアホームかりん、あじさい、職員とも14名で日帰り旅行に行ってきました。

関越道の沼田インターで降り、原田農園に寄り、午前10時頃、猿ヶ京温泉「まんてん星の湯」に着きました。ゆっくり温泉に入り、露天風呂にもつかってきて、お昼は五目ごはん、ほうとうなど、ご馳走を頂きました。

午後から、となりの芝居小屋で、人情芝居と踊りの一座を鑑賞しました。利用者さん8名も夢中で拍手したり、かつらと着物、白塗りの化粧もきれいな役者さんと握手したり、とても喜んで頂けた様でした。

帰りのバスで、またどこか皆で行きたいねと話しました。



相談支援事業所

君野 文子

サービス等利用計画の作成を行うようになって一年経ちました。本人や家族、関係機関の方々に集まっていたいただき、サービス担当者と会議を開催する機会が増えました。

本人を支援する機関が一同に会して、希望する生活に寄り添った各事業所での支援状況や課題を共有し、今後の支援の方向性や、機関の役割を確認することが主な目的の会議です。

現在利用している事業所あるいはこれから利用する事業所の支援者が出席し、様々な場面でのようす、特に強みに焦点を当てたお話を沢山聞くことができます。課題になっていくことがあれば、各支援機関で何ができるか意見が交わされ、自然と本人を中心とした輪型の支援チームができていき、温かみを感じます。

今後も、本人の安心した生活を皆様と共に支援していく所存です。



障害者就業・生活支援センター

トータル

亀井あゆみ

平成25年4月から新しい職員も加わって新たなスタートを切り、早いもので半年が経過しました。

今年上半期の実績状況としては、9月末現在の登録者数が、全体で328名(身体障害52名・知的障害118名・精神障害151名・その他の障害7名)。

9月末現在の、企業での職場実習を体験した方が16名、企業に就職された方が30名です。

今年の4月から障害者の法定雇用率が1.8%から2%に改定になった影響もあり、障害者を雇用する企業が徐々に増えてきております。その影響もあり、前年度に比べて就職者の増加に繋がっていると思われまます。

また10月30日には、高崎・藤岡・富岡・安中の4つのハローワーク共催で「障害者就職面接会」が行われ、そこでもまた新たに就職者が増えていくと思われまます。一般企業での就職を希望されている障害者の方が、1人でも多く就職に繋がるように、橋渡しをして行きたいと思っております。

また、就職が支援のゴールではなく新たなスタートになりますので、より継続して仕事を続けて行けるような、職場定着の支援にも力を入れて行きたいと思っております。

沢山の善意

ありがとうの気持ち

(平成25年4〜9月)(順不同・敬称略)

金井淀、群馬県サッカー協会、赤い羽根共同募金、小野地区支部社協、宝田貞子、近藤梅子、竹村折枝、田沼範明

表彰のごことば

〈社会福祉施設役員功労者〉
理事 青木 寛
評議員 高木 方
赤石眞希夫
金井 淀

(県社会福祉大会 10/4)



鈴内沙央理さん
「かなの里」の摂食嚥下の見直しと取り組み」をテーマに鈴内さんに発表してもらい、見事最優秀に輝きました。(県知的障害者福祉協会主催研究発表会、10/30)



ナイスハートフェア (9月)

チャレンジウィーク
(藤岡市立北中学校2年生)
(9月)



藤岡市立東中学校生徒会より、高性能CDカセットを寄贈してもらいました(10月)

編集後記

早朝のジョギングを近くの公園で始めて一年、季節の移り変わりを楽しんできました。日の出の微妙な時間の移動、暑さ、寒さの感じ方の変化、周りの木々、空の雲の移ろい……自然の中で十分に生きていくという幸せを感じてきた一年です。あまり何も考えることなく、自然と対話しながら気ままに走る、それが一日の活力の源となってきたのが嬉しいこの頃です。

(N・S)